

第2回講座

自然観察

2025/4/20

NPO法人日本パークレンジャー協会



1. 自然観察とは

「観る」:細かく見る、本質を見る

「察する」:物事の本質や道理を知る

※見るは 単に 眺める・映像としてみる・視覚に入れるの意味

※自然観察 → 自然をよく見て本質を知る

2. 自然を五官(=五感)で感じるとは?

1) **五官** : 人間が持つ五つの感覚器官

目、耳、鼻、舌、皮膚

2) **五感** : 五官の持つ情報感覚

視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚

野生動物は生き残るため常に周りの様子を知ろうとする

そのため五官をフルに働かせて安全かどうか? 敵がいないか?

食べても良いか?/求愛しても良いか? … それを判断する

人も五官を使って自然を観察すれば様々な刺激を全身で感じて(人と)自然の深いつながりを知ることができる

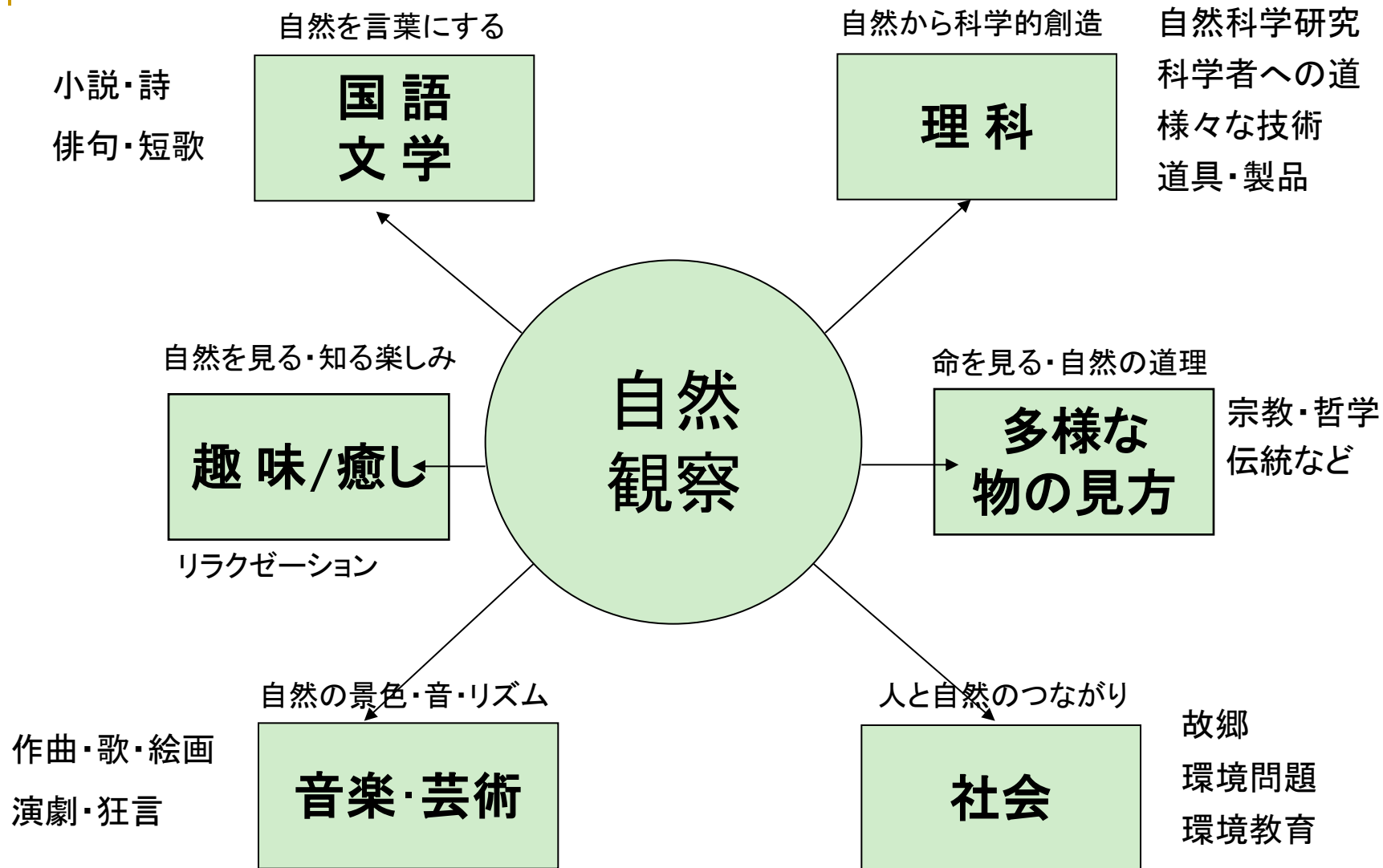
※五官(感)で感じて体で覚えたことは記憶に残る

3. 色々な自然の見方

- 1) 全体構造をみる
 - 2) 近づいてみる(上下左右) / 細部を見る
 - 3) 五感を使う(見る、聞く、匂う、味わう、触ってみる)
 - 4) 目の位置を変えてみる(座る、腹ばい、仰向いてみる)
 - 5) 小さなものをルーペで大きくしてみる
 - 6) 言葉で書いてみる(詩や俳句、歌にする) / 絵に書いて見る
 - 7) 観察したことを分かち合う (一人の目より多くの目)
 - 8) 季節や時間を変えてみる
- ※名前にはこだわらない(名前を聞くと分かった気になってしまう)

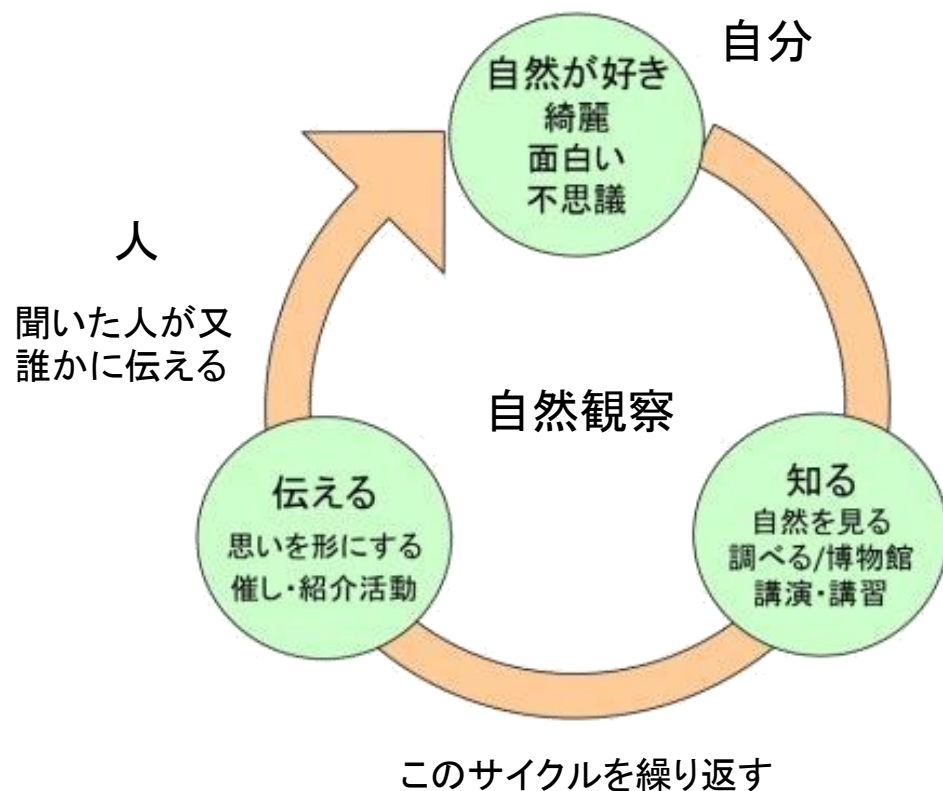
※見方を変えると色々な自然が分る

4. 自然観察は様々な道に通じている



人は自然からあらゆること学んでものごとを創造してきた

5. 自然観察から知るを楽しむ・伝えるを楽しむ



- *自然の美しさ・不思議を見る喜び
- *知らないことを知る喜び
- *伝えることの楽しさ
 - ・自分の思いを表現する喜び
 - ・人と自然を共有する喜び

※ 人は自然に興味を持ち その意味を知ると 行動するようになる